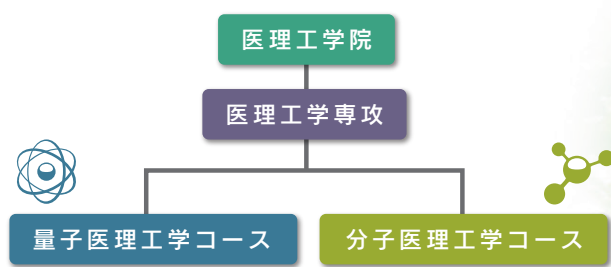
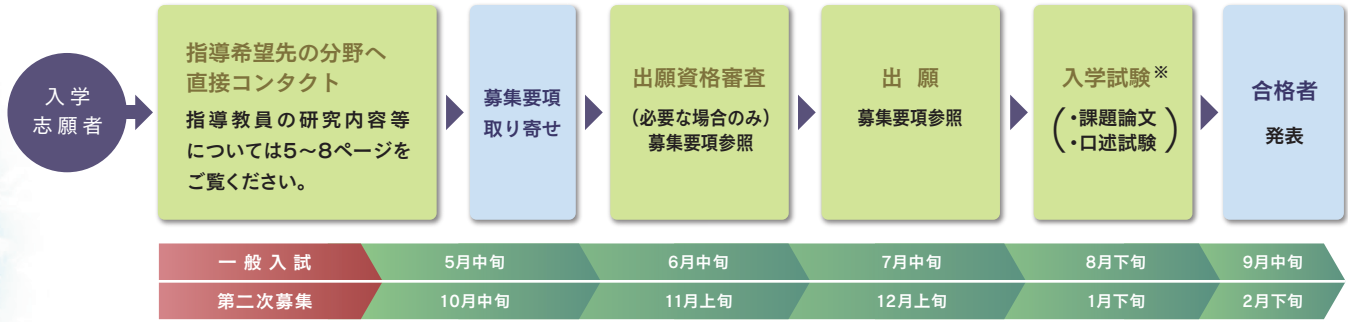


医理工学は、生命現象の解明、疾病の克服、人類の健康の増進に向けて、理工学の知識や技術を活用して研究する学問です。大学院医理工学院は、医理工学専攻の下に量子医理工学コースと分子医理工学コースの二つのコースを設けています。



入試・選考の流れ(修士課程・博士後期課程)



※英語能力は、提出されたTOEFLまたはTOEICのスコアシートにより評価します

修士課程の概要

量子医理工学コース

量子力学から発展した放射線物理学を基礎とし、これを医学に応用するために必要な学問体系である量子医理工学に精通し、放射線治療・粒子線治療とそれに関連する新たな医療機器に係る専門的知識と技能を有する人材を育成します。

分子医理工学コース

生体の分子挙動に関する理工学を医学に生かすために必要な学問体系である分子医理工学に精通し、分子画像診断・分子生物学・放射線生物学等に係る専門的知識と技能を有する人材を育成します。

- 標準履修期間:2年間
長期履修制度:社会人等の場合、2年分の授業料で最大4年間に在学可能です。
- 修了要件
①大学院に2年以上在学 ②所定の単位30単位以上を修得
③必要な研究指導を受け、修士論文の審査、試験に合格
- 取得可能な学位:修士(医理工学)
- 取得可能な資格(受験資格):医学物理士
(「医学物理士プログラム紹介」11ページをご参照ください)

- 奨学金制度
日本学生支援機構(JASSO)による奨学金のほか、北海道大学を指定する各種民間奨学金、地方自治体の奨学金制度があります。

諸費用	● 入学検定料*30,000円 ● 入学金*282,000円 ● 授業料535,800円(年額) (入学金と授業料は予定額です) *国費外国人留学生(文部科学省奨学金受給者)は不要です。願書提出の際、必ずその旨を申し出てください。
-----	---

博士後期課程の概要

量子医理工学コース

「量子医理工学」の分野で国際的な研究を行い、放射線治療・粒子線治療とそれに関連する新たな医療機器や技術の開発において指導可能な知識と技術を有し、国際的リーダーとして活躍できる人材を育成します。

分子医理工学コース

「分子医理工学」の分野で国際的な研究を行い、新たな医療用分子画像装置・分子診断薬・腫瘍溶解ウイルス・放射線増感技術等の開発研究において国際的リーダーとして活躍できる人材を育成します。

- 標準履修期間:3年間
長期履修制度:社会人等の場合、3年分の授業料で最大6年間に在学可能です。
- 修了要件
①大学院に3年以上在学 ②所定の単位10単位を修得
③必要な研究指導を受け、博士論文の審査、試験に合格
(申請者が第一著者となっている英文の基礎論文を1編以上提出)
- 取得可能な学位:博士(医理工学)
- 取得可能な資格(受験資格):医学物理士
(「医学物理士プログラム紹介」11ページをご参照ください)

- 奨学金制度
日本学生支援機構(JASSO)による奨学金のほか、北海道大学を指定する各種民間奨学金、地方自治体の奨学金制度があります。

諸費用	● 入学検定料*30,000円 ● 入学金*282,000円 ● 授業料535,800円(年額) (入学金と授業料は予定額です) *本学大学院修士課程修了見込の方で、引き続き本学院博士後期課程へ入学する場合又は国費外国人留学生(文部科学省奨学金受給者)は不要です。願書提出の際、必ずその旨を申し出てください。
-----	--

*募集に関する詳細は、募集要項およびウェブサイト
(<https://www.med.hokudai.ac.jp/bme/admissions/index.html>)にてご確認ください。

